

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てる環境づくり

事業名	あしゆびプロジェクト事業(子育て応援課)	担当課名	子育て応援課
-----	----------------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、あしゆび・体幹を鍛える取組みなどを通じた身体能力の向上を図ることにより、子どもの健やかな育ちの環境を整えることを目的とする。
(事業概要等)
幼稚園等でおこなわれる体験入園等の事業にスポーツ指導員が出向き、子ども向けのあしゆびを使った運動や、親子あそびを実施する。その中で、子どものあしゆび力をつけることの大切さや、日常生活での注意点やポイントを説明し啓発するとともに、保護者に対しても同様に運動習慣の動機づけとなるような介入をおこなう。

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	190	209	178	120	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
運動あそび教室参加者数	人	71	88	141	150
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
参加者へのアンケート調査の結果(回答者65名)、95%が「本教室を通じて運動・スポーツを始めたいと思った」と回答。また、「足のゆびを鍛えることについて関心があったか」に、「関心がある」と回答した割合が、教室開始前の92%に対し、教室終了後は100%に増加。「子どものあしゆび力をつけることの大切さ」の理解促進とともに、運動習慣の動機づけに結びつけることができた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	幼稚園の体験入園中止継続に伴い、R3年度に引き続き、就園前の親子が集う地域の子育て広場(おやこ広場)で実施し、R4は7か所全てのおやこ広場へ拡大。また、乳児対象の子育て広場(ぴよぴよくらぶ)での取組みを追加し、幼児期以降の足のアーチの形成やあしゆびを鍛えることの大切さについての啓発を行った。
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	幼児期以降の他のあしゆびプロジェクトでの取組みにつなげることができるよう、乳児対象の子育て広場での取組みの強化が必要。
-----------------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) あしゆび力をつけることの大切さを周知し、子どもの身体能力の育成・向上を図るため、継続して実施する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	親子広場での教室のほか、乳児対象の子育て広場での取組みを拡充し、子どものあしゆび力をつけることの大切さや、日常生活での注意点などを啓発するとともに、保護者に対しても運動習慣の動機づけにつながるよう取り組んでいく。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	こどもの居場所づくり事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、こどもの居場所づくりを実施する者を支援することにより、こどもの健全な育成を図るとともに地域の子育て力の向上を支援することを目的とする。
(事業概要等)
家庭的、経済的に様々な事情を抱えた子どもたちが、自己肯定感を高め、将来に希望が持てるよう、食事や学習支援、団らんの場の提供による地域での居場所づくりを行う者に対し補助金を交付する。

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	613	833	1,043	1,820	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
こどもの居場所数	か所	10	11	11	12
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
学習支援及び、食事提供を含めたこどもの居場所づくりを実施する者への補助金の交付を通じて、支援を要する子どもたちの地域での居場所づくりを進めることができた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	各団体の活動について把握するための連絡会を会議形式で1回開催し、情報共有を図ることができた。
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	こどもの居場所のある地域に偏りがあるため、すべての校区ごとにこどもの居場所づくりをめざす。
-----------------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) こどもの居場所の安定、継続した運営を目指し、今後も支援を継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	事業内容の情報発信を強化し、必要とする方への周知に繋がるように努める。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	ひとり親家庭医療助成事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、医療費の一部を助成することによりひとり親家庭に対し経済的支援を行うとともに、生活と児童の健全な育成を図ることを目的とする。
(事業概要等)
ひとり親家庭に係る医療費について、一医療機関あたり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。(同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円。所得制限あり。)

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	47,667	50,996	52,471	55,323	
うち市負担分(千円)	21,062	25,814	26,809	27,540	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
年間助成延べ件数	件	16,965	18,792	19,389	-
年間助成総額	千円	46,380	49,616	50,864	-
助成1件あたりの額(助成総額／助成延べ件数)	円	2,733	2,640	2,623	-
(指標を設定できない理由)					
必要な者に必要な額を助成する事業のため、目標値の設定になじまない。					
(成果の概要)					
ひとり親家庭の経済的な支援として不可欠なものであるが、その事業効果を数値化して計ることが難しい。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	家族形態の多様化など近年の社会的変化により、今後対象者の増加に伴い市の財政負担が増加していく可能性がある。
-----------------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ひとり親家庭の自立に向けた安定した生活には不可欠な事業であり、また、府の補助事業として府内一律で実施しているものであるため、継続して実施していく。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課名	子育て応援課
-----	-----------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、多様化する子育てを取り巻く環境に対応するため、ファミリーサポートセンター事業により子育て支援サービスの充実を図り、仕事と子育ての両立を支援することを目的とする。
(事業概要等)
育児の手助けをして欲しい「依頼会員」と、手助けをしたい「提供会員」による会員同士の相互援助活動を行うファミリーサポートセンターの運営を社会福祉協議会へ委託するもの。

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	9,721	10,128	10,288	10,925	
うち市負担分(千円)	7,855	8,262	8,422	9,059	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
活動件数	件	140	214	257	270
会員数	人	518	520	513	560
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
育児サービスの提供者と育児サービスの依頼者のニーズをもとに、活動することができた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	受け入れする提供会員の登録を増やす必要があり、引き続き広報紙やホームページ、社会福祉協議会の掲示板に募集チラシを掲示する、幼稚園にチラシを配布、ボランティアサークルなどに声掛けをするなど会員募集をした。
------------	---

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	子どもを預かってくれる会員(提供会員、両方会員)の登録が少ない。 会員募集のアプローチ方法の検討が必要である。
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市が実施する子育て支援事業と位置づけ、育児と仕事両立できる環境を整える等さらなる充実を図ることが望まれるため。
	改革・改善策等の具体的内容	提供会員・依頼会員の双方を増やすため、それぞれの生活スタイルやニーズを調査・分析し、アプローチ方法について検討する。また事業内容についての情報発信を行う。 提供会員に関しては比較的若い層へのアプローチを引き続き検討する。 会員間交流や意見交換、提供会員が研修を受講しやすい環境を整える。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	子ども医療助成事業	担当課名	子育て応援課
-----	-----------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもの医療費の一部を助成することにより、子育て世帯へ経済的支援を行うことにより、子どもの健康の向上と福祉の増進を図り、子どもを安心して産み育てるための環境づくりを推進することを目的とする。
(事業概要等)
満18歳(高校3年生修了)までの子どもに係る通院及び入院医療費について、一医療機関当たり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。(同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円)

### 【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	205,177	232,837	265,991	283,883	
うち市負担分(千円)	164,227	185,899	200,925	190,505	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
年間助成延べ件数	件	92,838	110,833	125,671	-
年間助成総額	千円	199,001	225,809	255,490	-
助成1件当たりの額(助成総額/助成延べ件数)	円	2,143	2,037	2,033	-
(指標を設定できない理由)					
必要な者に必要な額を助成する事業のため、目標値の設定になじまない。					
(成果の概要)					
子育て世帯にとって、医療費に係る負担は大きなものであり、その一部を助成することは子育て支援施策として有効なものであるが、その効果を数値化して計ることは難しい。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	段階的に対象年齢を引き上げている。 令和4年10月から、入院・通院を中学3年生から高校3年生(満18歳)までに引き上げた。
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	子育て世帯の経済的負担を減らし、子どもの早期受診を促し重症化予防にもつながっているが、国の制度として確立されておらず、市町村間で格差がある。年齢引き上げによる市の負担額も増えるため、引き続き国に制度の確立を要望していく。
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 子育て支援として効果があり、有意義な施策であるため継続して実施していく。
改革・改善策等の具体的内容	令和4年10月より、入通院医療費助成の対象を高3(満18歳)まで拡大した。全国の市町村で格差があるため、国の制度として確立し、全国一律となるよう国・府へ引き続き要望していく。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	児童発達支援センター事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもを安心して産み育てられる環境づくりとして、発達に特性がある子どもの療育の場や家族の相談の場、切れ目のない支援ができる児童発達支援センターを整備・新設し、こどもの健全な育成を図ることを目的とする。
(事業概要等)
児童発達支援センターを令和5年4月に新設するため、既存の保育所を改修し、指定管理者と開所に向け運営について協議し令和5年4月からの開所を図る。

### 【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	1,624	46,520	
うち市負担分(千円)	0	0	489	44,613	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
令和4年度は、改修工事などの準備期間のため。					
(成果の概要)					
令和5年4月からの開所に向け、指定管理者と連携し、保護者説明会などを行った。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 令和5年4月からの開所に向け、指定管理者と連携し会議を設け、子どもの健全な育成を図る。
	改革・改善策等の具体的内容	



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	障がい児通所支援施設処遇改善事業	担当課名	子育て応援課
-----	------------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、関係機関との連携を図り、障がい児及び発達障がい児の成長段階に応じた支援体制を充実させるため、児童通所支援センター(障がい児通園施設)及び発達障がい児療育等支援事業所へ補助金を交付することにより、入所児童の処遇改善、療育内容の充実及び円滑な運営を図ることを目的とする。
(事業概要等)
障がい児通所支援施設への入所児童数に応じ、その処遇改善のための補助金を交付する。

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,820	7,445	5,730	3,600	
うち市負担分(千円)	6,300	4,725	4,200	1,050	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
センター利用児童数	人	12	9	8	-
事業所利用児童数	人	18	16	9	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本格的な早期療育の機会を提供することにより、子どもたちの将来にわたる自立の促進に寄与することができた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	前年度に引き続き、当施設の利用機会が得られるように、積極的に情報発信し、進路指導に努めた。
------------	---

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本市の子どもたちが当施設に通うことが、子どもの自立促進や家族のケアにつながり、それ以後の進路指導もスムーズに受け入れてきているため。センター利用児童については、市立の児童発達支援センターの開所に伴い令和5年度以降対象児は減少見込。
	改革・改善策等の具体的内容	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	発達支援事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもを安心して産み育てられる環境づくりとして、発達障がい児の成長段階に応じた一貫した支援体制(妊娠・出産・子育てシームレスケア体制)の充実を図ることを目的とする。

(事業概要等)
発達支援シームレスケア体制構築のため、①発達に支援を要する子どもへの早期気づき・早期支援、②発達障がいの理解、③家族支援、④切れ目ない支援体制づくりを基本方針とし、発達相談や出張相談、教室などの相談支援事業や、家族支援のためのペアレントトレーニング、人材育成のための巡回相談や研修会を実施。また周知、啓発のための講演会や、切れ目ない支援体制構築のための発達支援ネットワーク会議等の開催、情報の一元化のための「わたしノート」の作成と活用などを行う。

### 【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,444	2,765	3,447	3,573	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
発達相談件数	件	629	638	445	640
1歳6か月児健診後の発達フォロー教室(わんわん教室)参加実人数	人	42	50	47	50
わたしノート配布数	人	51	108	76	80

(指標を設定できない理由)
---------------

(成果の概要)
①発達の早期気づきと早期発達支援:2歳半育児相談会の開催により早期の気づき・早期支援開始を行う体制の充実を図ることができた。②発達障がいの理解の促進:発達障がい啓発ちらしを健診等で配付し、啓発・周知・人材育成(研修)をすすめることができた。③家族支援:ペアレントトレーニングや親の会、家族交流会を実施。④切れ目ない支援体制づくり:「わたしノート」(サポートブック)の発行による情報の一元化や、小学校や教育委員会などの教育機関との調整により、早期の気づきから学童期に渡る切れ目ない支援体制の強化を図った。

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	コロナ禍で人数制限をしていた教室の運営方法や児童発達支援センターの開所に伴う連携等について検討した。
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	令和5年に児童発達支援センターが開所し、発達支援の関係機関とのすみわけを検討していく必要がある。
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 発達に支援を要する親子の切れ目ない支援を実現させるためには、当該事業の実施は必須であり、基本施策①～④の取り組みの拡充、強化を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		



## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てる環境づくり

事業名	母子健康管理事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、母子及び乳幼児の健康管理についての相談支援体制等を充実し、子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりを推進することを目的とする。
(事業概要等)
母子健康手帳交付、両親教室、離乳食講習会、子育て広場、育児相談、家庭訪問、産後ケア、不妊に悩む方への特定治療助成などの事業を通し、妊娠期から子育て期まで継続した相談支援を行い、不安なく出産、子育てができるよう関係機関と連携し、支援を行う。

### 【事業費】

項目/年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,156	7,465	7,124	107,558	
うち市負担分(千円)	1,245	3,795	4,768	3,778	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
母子健康手帳発行数	人	585	522	573	600
「応援レター」を送付した妊婦で、こんにちは赤ちゃん訪問時の質問票で「育児は楽しいと思うか」で「楽しい」と答えた人の割合	%	90	88	91	90
訪問指導(妊産婦、乳幼児)	件	1,329	1,238	1,157	1,300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
妊娠届出時の全数面接や妊娠応援レターの送付、家庭訪問や育児相談・教室などを通じて、妊娠期から継続して親の不安や悩み、親子の心身の状況、養育環境などを把握し支援を行うことで、育児の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境の充実に図れた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と出産・子育て応援ギフトの支給を一体的に行うことにより、必要な支援が妊婦や子育て家庭に届きやすくなるように検討する。
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	伴走型相談支援が充実したことに伴い、窓口面談など1ケースあたりの対応時間が増加し、健診や訪問で職員数が少ない時に、両親教室等の予約電話に係内で対応ができないことがあり、予約制の検討が必要。
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 母子並びに乳幼児の健康保持及び増進を図ることを目的とするため、継続して実施していく必要あり。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てる環境づくり

事業名	母子健康診査事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、妊婦や乳幼児が健康診査を受診しやすい環境を整備し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進することを目的とする。
(事業概要等)
母子保健法に基づき、妊婦健診、産婦健診、乳幼児健診、育児相談等の実施により、疾病の早期発見、親子の健康の保持増進及び育児支援を行う。

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	75,134	81,166	81,016	82,761	
うち市負担分(千円)	75,134	77,784	76,074	80,084	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
4ヶ月児健康診査受診率	%	98	99	99	100
1歳6ヶ月児健康診査受診率	%	100	97	99	100
3歳6ヶ月児健康診査受診率	%	92	95	94	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
妊娠期から出産、乳幼児期を通し、関係機関と連携し、疾病の早期発見、適切な保健指導及び育児支援を実施することができた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	新型コロナウイルス感染予防対策は継続しながらも、集団指導を再開するなど実施内容を拡大、変更した。
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い実施内容を休止・変更した事業について、今後はアフターコロナに向けた実施方法を検討し、開催通知や広報、チラシ等の周知を図る。
-----------------	---

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 親子の疾病の早期発見と支援及び健康管理を目的とするため、継続して実施していく必要あり。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	子育て応援事業	担当課名	子育て応援課
-----	---------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、スマートフォン普及率の高い子育て世代にとって利便性の高い情報について「分かり易く」「探しやすい」スマートフォンアプリケーション及びPCサイトを構築することにより、妊娠・出産・子育てに関する情報発信を充実し、子育て支援サービスの向上を図ることを目的とする。
(事業概要等)
子育て関連情報に関する情報を分かりやすく集約・一元化して発信するため、ポータルサイト及びスマートフォン向けアプリを提供、運用する。 令和5年度よりポータルサイトの再構築及びスマートフォンをリニューアルすることで、妊娠・出産・子育てに関する情報発信を充実し、子育て支援サービスの向上を図ることとする。

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,234	1,235	1,235	4,699	
うち市負担分(千円)	0	0	0	770	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
アプリの年度末時点通算ダウンロード数 (R5は新アプリ)	人	4,692	5,028	5,260	800
※R4までは、旧アプリの累計ダウンロード数。					
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ポータルサイト及びスマートフォン向けアプリを提供することにより、子育てに関する情報を多様な手法を用いて重層的に発信することができた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	妊娠期から出産・子育てまで、切れ目のない情報を発信するため、子育て世帯が検索しやすい、見やすいカラフルなサイトや、写真・動画などを多くとり入れた子育てアプリや子育て支援サイトの再構築を検討した。令和5年度から運用予定。
------------	---

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) スマートフォン向けアプリでの情報取得は、子育て世代にとって利便性に富みニーズも高いため、継続して運用していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	令和5年度よりポータルサイトの再構築及びスマートフォンアプリをリニューアルすることで、妊娠・出産・子育てに関する情報発信を充実し、子育て支援サービスの向上を図ることとする。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	泉大津駅高架下子育て支援事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、多様化する子育てを取り巻く環境に対応するため、泉大津駅高架下用地を活用し育児不安の軽減や解消のための情報交換や交流、相談の場として子育て支援施設を設置することにより、地域の子育て力の向上を支援し、子どもの健やかな育ちを図るとともに子育て世代の定住を促進する。
(事業概要等)
南海本線連続立体交差事業に伴う高架下の公共利用可能空間において子育て支援関連事業等を実施し、その運営を指定管理者へ委託する。

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	19,698	19,947	18,127	18,427	
うち市負担分(千円)	12,820	12,955	10,867	11,167	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
延べ利用者(保護者)数	人	3,268	3,387	4,491	5,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津駅前という立地的優位性を活かすとともに、民間事業者のノウハウを活かした多様なイベント、講座の開催により、市内外から多数の利用があり、子育て中の親子への様々な情報提供、参加者同士の交流を図ることができた。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	新型コロナウイルス感染症の影響により定員制限の設定、換気・消毒の徹底を実施した。
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	指定管理者において適切に管理・運営できているが、今後も課題の把握に努める必要がある。
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 利用者数も増加傾向にあり、指定管理者において適切に管理・運営できているため。
改革・改善策等の具体的内容		

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	団体等育成支援事業(障がい児親の会)	担当課名	子育て応援課
-----	--------------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、障がい児を持つ親、家族同士の情報交換や交流、相談の場としての活動を行っている障がい児(者)親の会を社会福祉協議会とともに支援することにより、家庭や地域の子育て力の向上を支援することを目的とする。
(事業概要等)
泉大津障がい児(者)親の会へ大会開催を委託するとともに、補助金の交付によりその活動を支援する。

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	0	336	
うち市負担分(千円)	0	0	0	336	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
会員数	人	48	41	34	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
親の会会員の交流が広がるだけでなく、会員以外の行事への参加を呼びかけており、地域住民の障がいに対する理解を深めることにもつながり、社会的な役割を果たしている。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 泉大津障がい児(者)親の会が解散のため。
改革・改善策等の具体的内容	令和5年度に休止予定。	

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	団体等育成支援事業(母子福祉会)	担当課名	子育て応援課
-----	------------------	------	--------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津市母子福祉会の活動を社会福祉協議会とともに支援することにより、母子家庭ならびに寡婦が互いに連携をとり、共に励ましあいながら、母子福祉の向上に努めることを目的とする。
(事業概要等)
泉大津市在住の母子家庭ならびに寡婦をもって組織される泉大津市母子福祉会へ母子福祉大会(隔年実施)の開催を委託するとともに、当団体へ補助金を交付することにより、その活動を支援する。

### 【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	120	297	169	347	
うち市負担分(千円)	120	297	169	347	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
会員数	人	43	40	34	34
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
母子家庭の集い等の会員間や他団体との交流により、同じ立場にある者同士の親睦を深め、情報交換し、悩みを相談しあうなど、生活の安定につながっている。					

### 【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

### 【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	
-----------------	--

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 母子・父子・寡婦の福祉増進は母子及び父子並びに寡婦福祉法に規定される市の責務であり、本団体の活動も大きく寄与しており、引き続き支援していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	